



〈 ちょうどいいで賞 〉 中学生の部
パーソナルスペースの学習教材

長野県 丸山 園恵 先生



商品化へのSTEP 先生のアイデア 開発秘話 カタチに!



障害のある子どもへ、人との距離感の教え方として「腕1本分離れましょう」という言い方がありますが、それがこだわりとなり家族や恋人、医師などにも近づけなくなるのは問題だと考えました。自分のスペースに入ってもよい人、近くにいる助けしてくれる人、近づかないほうがよい人がいることを視覚的に分かるようフロアマットを作成。中学部の生徒に行う性教育授業の中で活用し、どのくらいの距離感をもって接すればよいかを確認しながら授業できるように工夫をしました。



シートの上立つことになるので、表面は汚れや傷に強い素材で作りました。サークルの中心部分は、自閉症の子が好むと言われる青色や緑色にして、一番外側は、親しくないエリアとイメージしやすいように黒色にしました。子どもたちが分かりやすいように、学校での使用頻度も高いドロップスのイラストを使用しています。

パーソナルスペース学習教材
 「いいキョリング」
 inCLum2 p.64 掲載



文部科学省令和6年度青少年の体験活動推進企業表彰において、三和製作所のハートブリッジ事業が、最優秀賞「文部科学大臣賞」を受賞



先生のアイデアがカタチに



受賞作品
 教材開発の
 スペシャリストと
 共に商品化



〈 TOSS 谷和樹賞 〉 就学前・小学生(知的障害)の部
時間ばっちりクリアシート

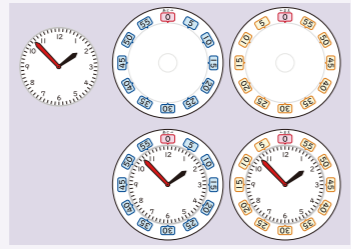
兵庫県 稲田 拓也 先生



商品化へのSTEP 先生のアイデア 開発秘話 カタチに!



時計で時刻は読めても、10時の35分後や35分前など、時間を読むのが苦手な子は多く、時間という概念の理解も、文字盤を5、10、15...と読むのも難しいのです。この教材は長針に0を合わせることで、そこから5、10、15...と読む視覚支援ができ、裏返すと「0分前」用の目盛り表示があり、1枚で0分後・0分前の両方に対応。横で説明しなくても自分で分かるようになり、慣れてくるとシートなしでも「終わるまであと0分」など生活の中で時間を活用できるようになってきます。



応募作品は、時計模型の上に「あと〇分」と書かれた透明のシートを乗せることで、時間を読むための補助ができる教材。商品化にあたっては、補助シートを時計模型の後ろに磁石で付ける仕様にして、シートを付けたまま時計の針も動かすことができるようにしました。両面仕様で「0分後」「0分前」が一枚で分かります。

時間ばっちり
 おたすけボード
 inCLum2 p.226 掲載



- 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なる場合がございます。
- 商品のサイズ、質量などは全て(約)の値です。
- このカタログは、2025年2月現在のものです。

sanwa
 株式会社 三和製作所
 〒132-0021 東京都江戸川区中央 4-11-8
 tel.03-5607-7811(代) fax.03-5607-7812
 https://www.sanwa303.co.jp



インクルーム教育教材通販サイト
inCLum ONLINE SHOP
 インクルーム公式オンラインショップ
 ■インクルームとは
 「インクルーム」は「インクルーシブ+くるむ」の造語です。三和製作所では、インクルーシブ教育教材カタログ「インクルーム」を発行しており、カタログに、インクルーシブな教育の充実や社会環境実現への願いを込めています。障がいの有無にかかわらず誰をも包み込む優しい社会を作り、子どもたちが自立を目指し「できる」という主体的な意欲と、「できた!」という達成感を育むことを目指しています。



あの子の教材を みんなの教材に

先生のアイデアがカタチになるまで

STEP1:応募▶ STEP2:審査▶ STEP3:受賞▶ STEP4:検討



審査員は特別支援教育に携わる先生、メーカー、出版社など。アイデア、実現性、有用性、操作性、多様性、安全性の観点から審査。



2024年2月に第1回コンテストの表彰式が行われ、応募作品総数251点のなかから、見事に入賞された9名の先生方が参加しました。



受賞された先生方と何度もやり取りを重ねながら、試作品を実際に試していただいたうえで商品化しました。

最優秀賞

就学前・小学生(発達障害)の部

フットカーリング

神奈川県 清水 里佳 先生



商品化へのSTEP 先生のアイデア▶ 開発秘話▶ カタチに!



手ではなく足でプレイする教材が欲しくて考案しました。狙いは足での力加減のつけかたやコントロールの練習、また、作戦、計算、順番などの学習です。転がしてプレイするので、紙皿を蹴りやすい深さにし、コピー紙の芯を中に入れて重さを持たせ滑りやすくしました。情緒障害の通級指導教室で使っていますが、力加減が苦手な児童が、弱く蹴ることができるようになったり、周りを見て作戦を立てる、効率良く片付けるなど活動の幅も広がっているようです。



子どもたちが踏んでも潰れる心配のないウレタン素材で製作。カーリングの魅力は、ストーンの滑りの良さや、ストーン同士が当たったときに弾かれて動くことにあると考え、ウレタンの底面にプラスチックのメッシュを貼ることで滑りと弾きの良さを向上させました。手で投げられる取っ手付きタイプも商品化しました。

フットカーリング

inCLum2 p.132 掲載



優秀賞

就学前・小学生(知的障害)の部

お金位取りシート

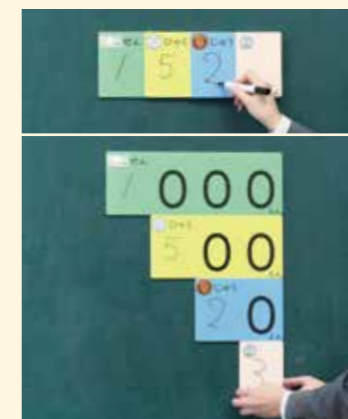
東京都 三好 恵美 先生



商品化へのSTEP 先生のアイデア▶ 開発秘話▶ カタチに!



紙をめくったり閉じたりすることで、位取りの仕組みが分かるシートです。工夫したのは、金額を書いたあと位ごとにバラバラにすることで、位取りの構成を視覚化した点です。掲示用だけでなく手元で使うシートも作成し、繰り返し学習ができるようにしました。授業で使ったところ、4桁までの金額を読んだり、正しくお金を出したりすることができるようになり、さらに、一般的な足し算引き算の学習の際にも、位取りの理解が向上していることが分かりました。



現場で使用する際、先生が説明しながら磁石付きのカードを黒板やホワイトボードに貼ったり外したりすることが想定されます。カードが薄いつかみづらいため、少し厚みのある発泡素材にすることで簡単につかめるようにしました。カードの表面はコーティングされているので、ホワイトボード用マーカーで書くことができます。

お金位取りボード/ お金位取りふせん

inCLum2 p.306 掲載



優秀賞

中学生の部

雑巾縦絞り練習器 シボリーくん

福岡県 鳥飼 週作 先生



商品化へのSTEP 先生のアイデア▶ 開発秘話▶ カタチに!



指先や手・腕を使うことが苦手な生徒が多く、雑巾絞りの練習をしてもなかなかうまくいきませんでした。そこで楽しみながら縦絞りが上達できるようにとの思いからシボリーくんを製作。右・左、どちらの利き手でも使うことができるもので、生徒たちもすぐに馴染み、積極的にねじる動作を繰り返す姿が見られました。雑巾の縦絞りでは、まだまだごちないところはありますが少しずつ上達してきていて嬉しいです。



スポンジと木の2バージョンを製作。手でひねったあと、スポンジは素材の戻る力で、木はバネの力で元に戻るの、縦絞りの動作を繰り返し練習することができます。スポンジに水を吸わせて実際に水を絞ることもできます。手のイラストが描かれたカバーを使用すると、雑巾に近い感覚での練習も可能です。

ぞうきん縦絞り練習教材 「シボリーくん」

inCLum2 p.97 掲載

